

# 日吉大社自然観察倶楽部通信

No.29 比叡山のブナ・クリンソウ観察会 H28年5月8日

新緑の中、9名で比叡山の横川へ登山してきました。去年も行った日吉溪谷ルートです。今年はどんな花が待っているのでしょうか？(⇒通信 24 比叡山のブナ・クリンソウ観察会を参照)

日吉溪谷のルートに入ると、対岸にヤマフジが見えました。天然の藤棚です。かすかな匂いをたどりながら、大宮川を登ります。その途中で見つけたのが、**ヤマネコノメソウの種**です。(右の写真) 種がネコの目に見えるので、その名前が付きました。皆さんの目にはどう映るでしょうか？雨粒や川の水によって種を散布する変わった花です。



つるつる滑る濡れた石に足を取られながら川を3回渡り、なんとか着いた奥総社で休憩です。先日の大風で折れたモミの枝が落ちていました。普段は高い所で咲いている雄花や若い実が残っていて、貴重な体験でした。

次に、鉄塔を越えて、暗い樹林帯へと歩を進めます。少しヒンヤリした山の中を越え、林道に出ると、ガマズミとタニウツギの花が迎えてくれました。綺麗な花でしたが、匂いは？でした。

もう一匹迎えてくれたのが、右の写真の**オオオサムシ**です。飛ぶことは出来ず、他の虫やミミズなどを食べます。このオオオサムシは黒色ですが、地域によっていろいろな色のオオオサムシがいる事から、歩く宝石とも呼ばれています。森の掃除屋とも。



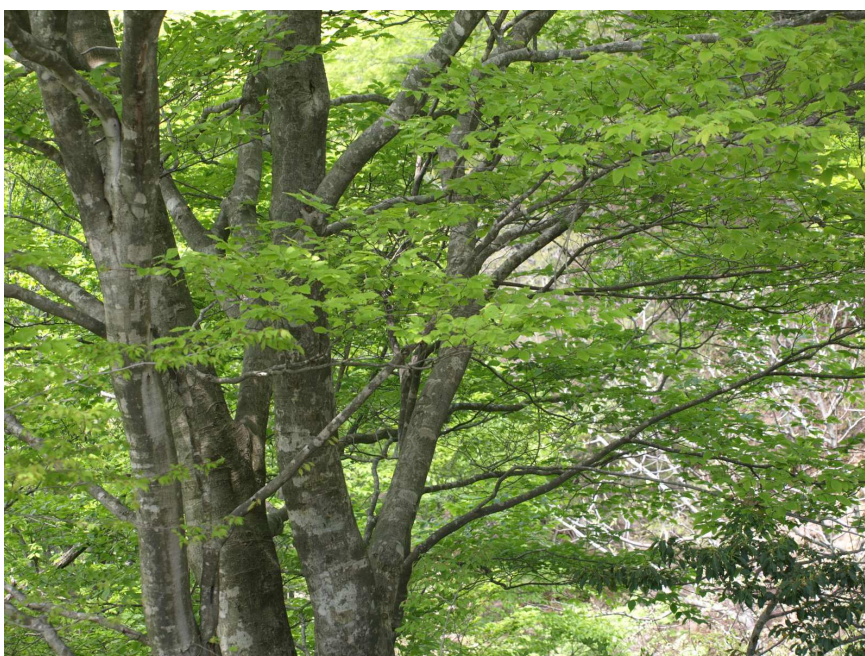
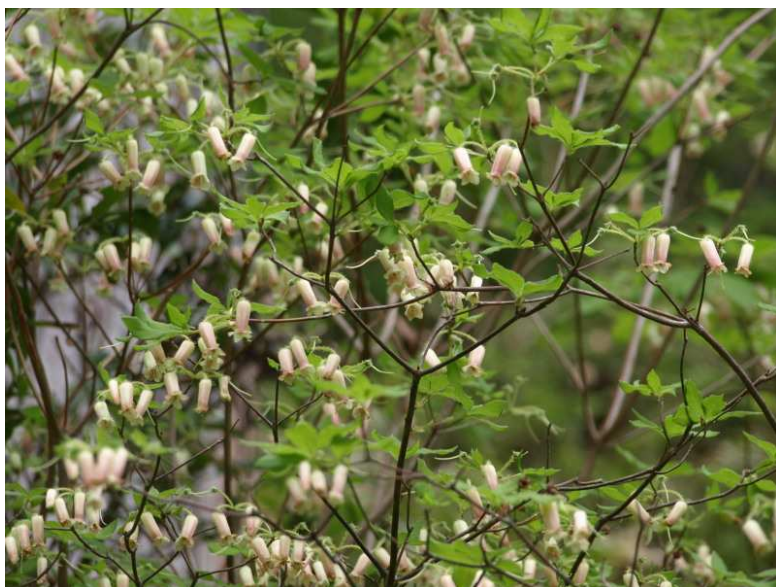
林道を進むと、お目当ての**クリンソウ**が咲いていました。(左の写真)。五重塔の屋根等に付いている九輪に似ていることからその名前が付きました。輪っか状に咲いたピンクの花が綺麗です。ただ、咲いている花は2輪から3輪ぐらいでしょうか。川の側に咲く花ですが、なぜ、乾いた林道に咲いているのでしょうか？謎の多い花でもあります。



昼食休憩の後、ツリガネツツジのトンネルをくぐります。(写真右) この林道には比較的たくさんの群落がありますが、あまり注目されていない花でもあります。

他には、赤い花のヤマツツジや白いマルバアオダモの花が目立ちます。

もう少しで横川という所で、もう一つの目玉、イヌブナに出会いました。横川の境内にはブナが生えています。(下の写真で左イヌブナ・右がブナ) どちらも寒い所に生える木です。



イヌブナの葉の裏は毛が生えていて、ブナには無いなどの違いがありますが、どちらもどんぐりの木です。光の当たり方もありますが、この時期、イヌブナは葉が緑色・ブナは黄緑色に見えます。また、ブナにしか生えない地衣類もあるようです。

元三大師御廟を回って、帰路に着く時、若いブナの木に出会いました。その時は枯れていましたが、ブナの雄花も落ちていました。(右の写真は4月後半ブナの雄花)

全体では地球温暖化や虫にやられて枯れているブナもあります。ですが、暑さにも負けず、命をつないでいるブナに元気をもらいました。みなさんも是非、比叡山の自然を見に行きましょう。ご案内します。



日吉大社自然観察倶楽部HP

<http://hiyositaishasizenkansatu.jimdo.com>